

コミュニティ・スクール だよ

卒業おめでとございます

栗源中 3月13日(火)・栗源小 3月19日(月)

栗源小中学校の卒業式を無事挙行することができました。小中学校とも在校生、先生方、多くの来賓の皆様から祝福され元気に母校を巣立っていきました。

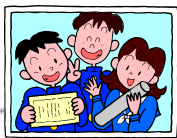
中学生は、小学校とはちがい進路が別々になります。進む道は違っていても、この栗源で育った9年間は、どの生徒にも大切な思い出になっていくに違いありません。

同じ学び舎で育ったから、同窓生といいます。人数の少ない同窓生ですが、その分付き合いが深まり、太くて強い絆で結ばれているはずです。

この先も、ずっと同窓生ですので、出会った友達をこれからも大切にしてほしいと願っています。

さて、中学校と小学校の卒業式では、それぞれの発達段階を考慮し、多少違いがあります。大きく違う点と言えば、中学校では、在校生の代表が読み上げる送辞や卒業生が読み上げる答辞が、小学校では全校児童による呼びかけになります。

いつごろからこのような小中学校での違いができたのか定かではありませんが、少なくとも私が小学生の頃から続いているので、かなり以前からのこの形で定着してきているように思います。



【栗源小学校の卒業式の様子 3月19日実施】



【栗源中学校の卒業式の様子 3月13日実施】



中学生の送辞や答辞は、言葉の一つ一つがよく吟味され、感情のこもった素晴らしい内容で、3年間の学校生活がその言葉の中によく織り込まれていました。

小学校の呼びかけは、在校生が6年生に対する感謝の気持ちを学年に応じた表現で伝え、6年生へのあこがれの気持ちにあふれていました。また、卒業生は入学してからの6年間で振り返り、それぞれ頑張ってきたこと、多くの人に支えられてきたことへの感謝の気持ちなどが伝わってきました。

どちらの卒業式も形には多少の違いはありますが、参加する児童・生徒は、栗源の子供らしく立派な態度で式に臨み、感動のある式が挙行できました。

これから、卒業を機に立てた大きな志を大切に、それぞれの道で、精いっぱい活躍をみせてくれるにちがいありません。

両校の卒業式に、大変ご多忙の中、ご臨席を賜りました来賓の皆様へ、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。